

議会だより

第168号
令和3年11月



栄浜小児童が稲刈り体験をしました!!!

10月14日に栄浜小学校児童が毎年恒例の稲刈り体験を行いました。

児童の皆さんには、閉校前最後となる稲刈りを暑い中一生懸命頑張っていました。

- 第3回定例会で審議して決まったこと P.2
- 一般質問 P.4
- 委員会の活動報告 P.10
- 臨時会の開催について P.11
- 議会のうごき P.12



専 決 処 分

第3回定例会

令和3年第3回乙部町議会定例会が9月16日に招集され、会期を1日間と決めました。今定例会は令和3年度一般会計補正予算などの提出案件が計24件あり、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では田中議員、倉持議員、澤田議員、安岡議員の4名が町政に関する考え方をただし、同日閉会しました。

審議して決まったこと

報 告

■令和2年度健全化判断比率の報告

■令和3年度乙部町一般会計補正予算 (第2回)

■乙部町国民健康保険病院使用料手数料条例の一部を改正する条例
社会福祉法人栄和会で実施していた訪問看護サービスが8月31日をもつて事業休止したことに伴い、当病院がみなし事業所の指定を受け、9月1日より訪問看護サービスを行うこととなり、それに伴う介護給付費が発生することから、条例の一部改正を行いました。

補 正 予 算

■令和2年度公営企業資金不足比率の報告
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標の基準をいづれも下回り、赤字も発生していない旨の報告がなされました。

歳入では、臨時財政対策債の減額など、歳出では、道路工事請負費の減額などを行い、歳入・歳出それぞれ6503万8千円を減額し、総額を37億2240万5千円としました。

また、公営企業（国民健康保険病院事業等4会計）の資金不足も発生していない旨の報告もなされました。



■令和3年度乙部町介護 保険特別会計補正予算 (第2回)

は、前年度繰越金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

介護サービス事業勘定の歳入では、前年度繰入金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

■令和3年度乙部町漁業 集落排水事業特別会計 補正予算 (第1回)

歳入では、消費税還付金の追加など、歳出では、水洗化等改修資金貸付金の追加を行い、歳入・歳出それぞれ320万円を追加し、総額を3322万3千円としました。

■乙部町過疎地域持続的 発展市町村計画 計画

新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が制定され、当町でも過疎地域持続的発展市町村計画を策定しました。

■乙部町教育委員会委員 の任命 同意

乙部町教育委員会委員の任期が満了となるため、後任委員として松崎真由美氏が再任され、1人の委員が辞職することから、後任委員として小野美智子氏が選任されました。

条例の改正

■乙部町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定

助金の追加など、収益的支出では、建物修繕費の追加などをを行い、収入・支出それぞれ130万円を追加し、総額を4億8064万2千円としました。

た。

資本的収入では、感染症検査機関等設備整備費補助金の追加など、資本的支出では、備品購入費の追加を行いました。

■令和2年度乙部町一般 会計歳入歳出決算認定 認定

■令和2年度乙部町国民 健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定

これら一般会計・各会計の計8会計について、江口代表監査委員より決算審査報告があり、のちに決算特別委員会に付託されました。

■令和2年度乙部町簡易 水道事業特別会計歳入 歳出決算認定

下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

■令和2年度乙部町簡易 水道事業特別会計歳入 歳出決算認定

令和2年度乙部町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

■令和2年度乙部町国民 健康保険病院事業会計 決算認定

乙部町過疎地域持続的発展市町村計画に進行すべき業種と定められた事業者の設備等の取得に係る固定資産税を3年間申請に基づき課税免除を行うことを目的として、条例を制定しました。

■令和2年度乙部町介護 保険特別会計歳入歳出 決算認定

歳入では、前年度繰越金の追加、歳出では、職員給の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ61万4千円を追加し、総額を1億4510万8千円としました。

■令和3年度乙部町簡易 水道事業特別会計 予算 (第2回)

歳入では、前年度繰越金の追加、歳出では、職員給の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ61万4千円を追加し、総額を1億4510万8千円としました。

■令和3年度乙部町漁業 集落排水事業特別会計 補正予算 (第1回)

歳入では、消費税還付金の追加など、歳出では、水洗化等改修資金貸付金の追加を行い、歳入・歳出それぞれ320万円を追加し、総額を3322万3千円としました。

■令和3年度乙部町国民 健康保険病院事業会計 補正予算 (第2回)

歳入では、前年度繰入金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

■令和3年度乙部町介護 保険特別会計補正予算 (第2回)

歳入では、前年度繰入金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

は、前年度繰越金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

■令和3年度乙部町簡易 水道事業特別会計 予算 (第2回)

歳入では、前年度繰越金の追加、歳出では、職員給の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ61万4千円を追加し、総額を1億4510万8千円としました。

は、前年度繰越金の追加など、歳出では、一般会計繰入金清算返還金の追加などをを行い、歳入・歳出それぞれ1321万円を追加し、総額を5億7310万8千円としました。

決議

令和2年度各会計決算及び各基金運用状況審査の万全を期する上から、事務検査に関する決議が可決され、決算特別委員会（明石委員長・田中副委員長）が、議長と議会選出監査委員を除く7名で構成されました。

議員の派遣

議会の活性化に資するため、令和3年10月9日から10日にかけて開催される第44回全国育樹祭へ議員を派遣することに決定しました。

諸般の報告

第3回定例会において、
会議に先立ち、議長から
次の事項について報告が
なされました。

- 第3回定例会では、次の意見書案を可決し、内閣総理大臣はじめ、関係省庁へ送付しました。

 - コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
 - 国土強靭化に資する社会资本整備等に関する意見書

意見書を採択

意見書を採択

閉会中の継続調査

各常任委員会の閉会中の継続調査の申し出を決定したものです。

- 町有林の整備状況について（現地調査）
 - 「調査事件」
 - 「議会運営委員会」
 - 議会の運営に関する事項

・議会の会議規則、委員会に関する条例等に關

第3回定例会では田中議員、倉持議員、澤田議員、安岡議員の4名が質問に立ち、町政に対する考え方を質す、計6項目の質問がありました。

一般質問

問 質

1 自然災害などに備え、町の危険箇所の見直しと町民への周知について

2 上昇を続ける介護保険料と介護予防の在り方について

田中義人 議員



質問① 気象事象の異常
や、予期できない地形の変動などで、甚大な災害が日本列島を襲っている現況であると思つております。異常気象や台風シーズンの到来、また、突然襲ってくる竜巻による被害などについて、いつ何処でどんな災害が発生するのか、災害に備えてのリスクにいかに対処するかが喫緊の課題であると考えております。

6月6日午後6時10分頃、国道229号線で土砂崩れが発生、約2,900立方メートルの膨大な土砂が崩壊、未だ開通の目処が立つていらない状況にあります。

当該地区に集落がありますたり、また、通過車両が直撃されたら、想像を絶するような悲惨な被害を受けたろうと思ひます。幸いにそのような事案の発生がなかったことに安堵しております。

日本海沿岸を縦断する町内においても、去る

唯一の交通の要所が遮断されたことは、想像以上に地域経済や町民をはじめ、地域全ての産業に影響があると思っています。工法などを検証し、一日も早く安全・安心して通行ができるよう願望するところであります。

また、去る7月3日未明、活発な梅雨前線の影響で、激しい雨が東海や関東南部地方を襲った記録的大雨による土砂災害で大規模な土石流が発生、地形的に土砂災害のリスクがあった地形での災害とされていますが、尊い人命や家族などを一瞬にして失うという痛ましい被害が発生したことは記録に新しいことであります。

災害はいつ発生するか分かりません。

町内は国道229号線沿いで海に面した急峻な地形が多いことから、町の防災ハンドブック上でも警戒区域及び特別警戒区域が危険箇所として位置づけられていますが、令和3年5月に避難情報の見直しがなされ、避難

また、去る7月3日未明、活発な梅雨前線の影響で、激しい雨が東海や関東南部地方を襲った記録的大雨による土砂災害で大規模な土石流が発生、地形的に土砂災害のリスクがあつた地形での災害とされていますが、尊い人命や家族などを一瞬にして失うという痛ましい被害が発生したことは記録に新しいことでありま

6月6日に発生した国道
229号線岩盤崩壊では、
幸い車両や人が巻き込まれなかつたことにホッと
しているところでござい
ます。

さて、ご質問の危険個
所の見直しと町民への周
知ですが、津波浸水想定

まずもつて、本年7月の静岡県や神奈川県を中心に行なった大雨は8月の九州・四国・中国地方等の大暴雨により、大きな被害に遭われました方々の1日も早い復旧を願うところでございます。

このことを踏まえ、国において本年5月に避難情報の見直しをされたことから、広報7月号で町民の皆様にお知らせしたところでございます。

しかしながら近年、台風や異常豪雨等により、全国各地で同時多発的に、しかも広範囲に甚大な被害が発生し、豪雨においては、避難しなかつた・避難が遅れたことによる被災、豪雨・浸水時の屋外移動中の被災、そして、高齢者等の被災事例が多くなっております。

行動基準が改正されないことから、今一度危険箇所を見直し、避難体制の在り方などの見直しを行い、町民の皆さんに周知を図るべきと考えますが、町長のお考えをお伺いいたします。

の見直しと、北海道で行つてまいりました土砂災害の恐れのある調査の完了により、土石流、急傾斜の崩壊による土砂災害を被る特別警戒区域、警戒区域が示されたことに伴い、昨年10月、防災ハンドブックを改訂し、各ご

また、災害の恐れの高いとされる警戒レベル4は、避難指示に一本化され、全員必ず避難行動をとつていただくこととなりました。

くれぐれも警戒レベル5の緊急安全確保の発令を待たないでいただきたい

町民の皆さんのが
老後もいかに安心
して住み慣れた町
に住み続けられる
のかが、まちづくりの基
本理念であると考えてお
ります。

本年度は65歳以上の高
齢者が負担する介護保険

団塊の世代全員が75歳以上になる2025年には、高齢化の進展により、要支援・要介護の認定者が増加するものとされ、さらに介護職員の不足も進み、道内における基準月各平均が7,200円になると試算されています。

道内156の自治体・
広域連合の月額平均が3
%増の5,693円との
報道がなされています。
乙部町も、月額平均
5,400円から6,0
00円に改定されました。
制度が開始された平成12
年4月の3,000円台
から1.8倍の改定率に
あります。

質問②

質問② 町民の皆さんのが、まちづくりの基本理念であると考えておられます。

本年度は65歳以上の高齢者が負担する介護保険料が3年ぶりに改定されました。道内156の自治体・広域連合の月額平均が3%増の5,693円との報道がなされています。乙部町も、月額平均5,400円から6,000円に改定されました。制度が開始された平成12年4月の3,000円台から1.8倍の改定率になります。

団塊の世代全員が75歳以上になる2025年には、高齢化の進展により、要支援・要介護の認定者が増加するものとされ、さらに介護職員の不足も進み、道内における基準月各平均が7,200円になると試算されています。

保険料の上昇に歯止めがかからず、負担がますます。

ます重くなる見込みであり、要介護認定者の増加に伴い、一層多様なサービスが求められると思います。

町の主要施策として、要介護者の重度化を防ぐため、いかに介護予防施策を充実するかが問われていると考えます。昨年度・本年度前半は、コロナ禍のため介護予防事業の一部が中止や、事業への参加者の減少があるように思います。介護予防の取り組みを継続することで、認知機能の低下や医療費の抑制につながるものと思います。中長期的計画の下、保険料の過度の負担を強いることでなく、公費負担、基金の有効活用等の軽減を含め、高齢化の進展状況、介護ニーズの実態把握を的確に行い、保険料の負担軽減と介護予防施設の充実を図るべきと考えています。

その背景には、介護サービスを利用する人の増加が挙げられるのは言うまでもありません。また、施設入所を含む介護保険サービス利用者の増加と合わせ、その利用者となる可能性がある介護予防サービス利用者にも注目しなくてはなりません。

しかししながら、コロナウイルス感染症の出現により、こうした介護予防教室の開催自体を休止しなくてはならず、参加者が見えない悪化を心配しているところです。また、ご指摘にありました介護保険料の負担軽減と介護予防施策の充実についてですが、元気なうちから介護予防に努めることが介護サービスの利用減少や施設入所者の抑制に繋がり、強いては介護保険料の負担軽減になります。

1988年制定の行政機関の保有する電子計算処理に関する個人情報の保護に関する法律を改正するものとして、2003年には個人情報の保護に関する法律が制定されました。

これは乙部町において、町民への情報を公開させていないことばかりか、町民の民意をくみ上げる体制ができていないことも全国に公開していることがあります。

乙部町は現在、鳥山一

館浦間の国道229号線

答弁者

町中町民課長

田中議員がおっしゃるとおり、第8期介護保険事業計画において、多くの自治体が介護保険料の引き上げを行い、当町においても、平均月額6,000円となっております。

護状態にならないようになること、さらには、介護とは無縁と思われる元気なうちから介護予防に興味や関心を持つていただけ、各種対策教室等に参加していただくことが、介護予防の第一歩と言えるのではないかと思います。

支援センターを中心に保すること、さらには、介護予防の第一歩と言えるのではないかと思います。

議会等と連携し、見守り、声かけを続けてまいります。

質問①

質問

1 乙部町の情報公開条例の制定について

倉持 篤議員



1999年に情報公開条例が制定され、2001年に独立行政法人等に保有する情報の公開に関する法律、2003年には個人情報の保護に関する法律が制定されました。

これは乙部町において、町民への情報を公開させていないことばかりか、町民の民意をくみ上げる体制ができていないことも全国に公開していることがあります。

言わんばかりの緊急事態が起きてる中、町民は生活に不安を抱き、また、町外在住の方々も家族・親族を案じていますが、帰郷できず辛い思いをしている皆さんの中の声を聞くと、情報量が少ないことに懸念を示しております。
<p>私からは、情報公開条例の早急な制定と防災無線放送の時間帯変更や回数の拡大が必要と思いま すが、町長のお考えをお聞かせください。</p>

答弁者

服部総務課長

町外在住の方々も家族・親族を案じていますが、帰郷できず辛い思いをしている皆さんの声を聞くと、情報量が少ないと懸念を示しております。私からは、情報公開条例の早急な制定と防災無線放送の時間帯変更や回数の拡大が必要と思いまが、町長のお考えをお聞かせください。

での土砂崩れや、今も尚、感染リスクの高いコロナ感染症等、まさに災害と言わんばかりの緊急事態が起きている中、町民は生活に不安を抱き、また、

合等で詳しくお話をし、また、町内外にはインターネットのホームページ等を活用し、お知らせしているところがありま

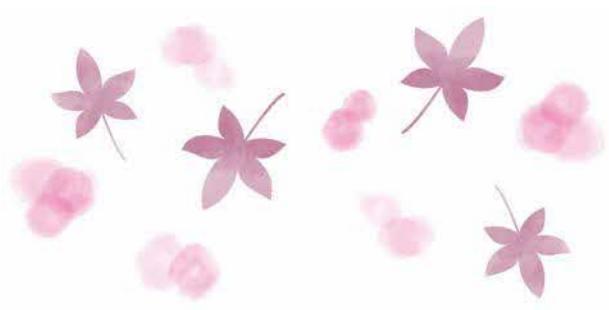
ただ、公益、町の利益に關することや個人情報がそれによつて推測されるものについては、言うまでもありませんが慎重に対処することが当然であり、個人のプライバシーの保護にも意を用いながら、いわゆる町民の権利と義務の遂行との調整を図り対処すべき問題であり、特に最近は、個人情報との整合性が多くの課題を持っているものではないかと考えております。特に、乙部町のような小さな町であれば、町民の方が役場に来られた際に職員が直接町民の立場に立つて相談を受け、資料などの提供も含めて親切に対応するのが、一番町民にとって大切なことではないかと思つております。

場に立つて適切に対応してきており、特に情報公開条例がなければ、町民にとつて不都合とか不利益なことはないと認識し、今日に至つておりますが、しかしながら今後、書面等による申請手続きをしても正式な条例に基づく情報の提供のほうが良いという町民が多數であれば、役場の情報は町民のものでありますので、今後、検討すべき課題と考えております。

また、町内外に対する災害等の情報量の少ないことへの懸念ですが、広報・防災無線・ホームページ等を活用し、できるだけ早く正確な情報を発信できるよう詰めてまいりたいと考えております。

次に、防災無線の時間及び改正についてですが、現在の放送時間については、各自治体等との協議を行い、できるだけ多くの町民が聞ける時間帯として定時放送を19時30分と設定しております。

今よりも早い時間になると、他町で働いている人が聞けない等があるこ



お 願 い

議会議長宛の文章や案内状などは、議長の日程調整をする必要がありますので、議会事務局に送付するようお願いします。

=043-0103

爾志郡乙部町字緑町388番地
乙部町議会事務局 宛

1 国道通行止めによる対策（懸念）について

質問

質問①

去る6月6日、

的にも不安が募ると心配の声も多々聞いております。

経過しており、その間、開発局との検討会や説明会、意見交換等も行われ、8月20日には迂回路の一時国道編入、同月24日に支援会議も設置されました。

これも、町長か道庁や開発局への要望等、大変ご尽力された賜物だと思われ、少しずつではありますが、対策が進んでき

しかしながら、迂回路
トンネル間、緑町十字街
から館浦間の小売業・飲
食・宿泊施設等は多大な
ダメージを受けており、
また、迂回路を使用され
ている町民にも遠回りと
いうこともあり、体力的・
経済的にも負担がかかっ
ており、さらにこれから
冬期間にすることで精神

答弁者
寺島町長

6月6日国道229号
線乙部町館浦において岩盤崩壊が発生し、鳥山館浦間の延長約1.8kmが通行止めとなり、間もなく4か月を迎えようとしています。

幸いにして人的被害が無かつたことに安堵していますが、現道の応急復旧が進まない中、相当の

月日が経ち、町民皆さん
は不安と負担を強いられ
ているところでございま
す。

8月3日の有識者による2回目の検討会の結果、今後、今回の崩壊を上回る岩盤崩壊の可能性があり、現道を用いた応急対策は極めて危険であり、困難であるという所見が出されました。

早期復旧の願いが漬えられ、意気阻喪となりましたが、引き続き粘り強く要望を国へ挙げておりましたところ、あらゆる手段を動員した打開策を検討する中で、緊急車両や地域のための応急復旧路として、館の岬の上を走る町道館浦鳥山線の旧国道を改良することができなか、現在、事業化に向けて函館開発建設部と作業をとり進めているところでございます。

また、地域迂回路として利用している道道乙部厚沢部線から町道姫川富岡線を通り、道道旭岱鳥山線に至る道路を8月29日に国道に編入し、維持

管理を国へ委ねることで、1年を通した安心安全な道路環境の保全に期待しているところであり、さらには、携帯電話が繋がりにくい区域もありますが、改善に向け各通信事業者が動きしております。安全性と利便性が向上するものと考えております。

澤田議員のご質問にある第1次、2次、3次産業への影響については、開発局職員と町職員とで各事業者へ影響を把握するため、8月11日から事業者や従事者への聴き取り調査を実施しており、この調査をもとに乙部町への支援を目的に北海道開発局、北海道運輸局、渡島総合振興局、檜山振興局、乙部町にて組織される乙部町支援会議、第1回は8月24日にすでに開催しておりますが、この中で取り進めていく考えであります。

事業者への経済的損失に対する支援を、財政確保を含めながら検討してまいり、順次速やかに対策を実施してまいる所存

でございます。
また、9月7日から10日までの間に町内4地区において順次開催された住民説明会においても、地域産業や住民生活への様々な影響や見通しが見えない復旧計画への不安や不満が多数寄せられており、これから迎える厳しい冬期間に向け、地域巡回路における安全対策の徹底はもとより、応急復旧の早期着工と本格復旧方針の早期提示がなされるよう、関係機関へ更なる働きかけや連携強化を図つていきたいと考えております。

8

今後は、鳥山以北で役場臨時窓口の開設や移住体験住宅の活用なども早急に対応していきたいと考えております。しかしながら、まだ必要となる対策案件が必要となる対策案件が

あると認識しております。町議会、各種団体、そして町民皆様と一緒にこの窮地を乗り越えていきたいと考えておりますので、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

それは、誰もが感染の危険があるという不安と緊張感が継続していることにあります。

町や地域の行事も中止することも多く、外出の機会も減っています。

町では、地域包括支援事業での訪問活動や町民相談員などを設置している部分もありますが、さ

らに町民の悩みや不安を気軽に相談できるよう、訪問や相談窓口を設けるなど様々な方法でメンタルケアが必要ではないか

と思いますが、いかがでしょうか、伺います。

重要な対策の1つである新型コロナワクチンの接種については、多くの方のご理解ご協力を得て9月11日に当初計画分の接種が完了し、今後は申し込みの遅れた方や接種年齢に到達した方などの接種について日時を決め行って行っていく予定でございます。

ご質問にありました、新型コロナに特化した訪問や専門の相談窓口を設置するということは、職員の確保、また、今後も続く新型コロナ感染症への対応等の理由から難しいと考えておりますが、

度重なる緊急事態宣言接種が完了し、今後は申込みの遅れた方や接種年齢に到達した方などの接種について日時を決め取り戻すことができるよう努めてまいります。

質問①

質問

- 1 コロナ禍のメンタルケアについて
- 2 シルバー人材センター事業団について

安岡美穂 議員



新型コロナウイルス感染拡大が昨年の1月から、ご存知のように続いています。今年5月から始まったワクチン接種も高齢者の接種率は90%、12歳以上接種率は83%を超える見込みになっていることが、9月8日の総務民教常任協議会で報告されましたが、引き続き感染対策は継続していなければなりません。中での困りごとや日常生活に感染しなくとも生活の

緊急事態宣言も未だ延長ということことで、解除されない状況にあります。町民の中には、コロナ

答弁者
野澤町民課参事

現在のコロナ禍におけるメンタルケアの必要性についてですが、1年半以上制限や自粛を強いら

生活の制約などから、精神的に追い詰められる人など、特に高齢者には介護の必要性が高まることに繋がっていないか等、心配です。

それは、誰もが感染の危険があるという不安と緊張感が継続していることにあります。

町や地域の行事も中止することも多く、外出の機会も減っています。

町では、地域包括支援事業での訪問活動や町民相談員などを設置している部分もありますが、さらに町民の悩みや不安を気軽に相談できるよう、訪問や相談窓口を設けるなど様々な方法でメンタルケアが必要ではないか

と思いますが、いかがでしょうか、伺います。

質問②

高齢者が日常困つ

ていることに、例

えば除雪やゴミ出し等々、手を差し

のべることができれば、安心して暮らせると思う

で、シルバー人材センタ

事業団の存在は必須です。

令和3年度当初予算書に事業団立ち上げの補助金として34万8千円計上されていました。

その後の動きや活動の内容等について、伺いたい

答弁者

宮本町民課参事

乙部町のシルバー人材センターについては、今年4月にコミュニティー乙部を北海道が滝瀬地区にシルバージョブティー乙部を事業団として立ち上げており、町といたしましても今年度予算に計上しております34万8千円を活用し、活動に伴う事故を保証する保険料などの費用を援助し、事業団の立ち上がりを支援することとしております。

設立後の活動状況につきましては、登録者の確保が困難な状況が続いている際には説明を行うなどして、現在、数名からの登録確認をいたいでいるところであり、除雪の需要が予想される時期までに登録者をさらに確保していくことが現在の課題となつてございます。

シルバー人材センターをはじめとする高齢者支援団体による高齢者支援

については、今後さらに高齢化が進むこの地域においては必要不可欠なサービスと認識しており、人材不足などの課題も多々あります。すでに高齢者支援事業を開催している障害者事業所などとも連携を図りながら、高齢者の困りごとに応じてできる基盤を整備してまいりたいと考えておりますので、議員の皆さんにおかれましても引き続きご支援ご協力を願い申し上げます。

委員会の活動報告

総務民教常任委員会

■調査の経過

令和3年8月23日関係職員の出席を得て、資料及び現地での説明を受け調査した。

■調査の結果又は概要

(意見)

○広域公共交通の現状と地域生活路線の維持対策について



貝子沢化石公園で説明を受ける議員

町内唯一の公共交通機関である函館バス「江差八雲線」が9月末での廃止により町民の利便性が失われたことや、町民の高齢化による運転免許証の返納また江差高校への通学、併せて6月に発生した国道229号岩盤崩落による通行止めなど、町において地域公共交通計画の策定が急務となっているものと考えられる。

計画策定においては、町民ニーズの把握・地域課題の整理、函館バスと

貝子沢化石公園の改修・整備について工夫検討願いたい。

(現地調査)

○貝子沢化石公園の完成状況及び利活用・維持管理について



整備された園路の様子

併せて、公園への誘導について工夫検討願いたい。

町内には、性質が異なる地層が点在し、その1つが貝子沢化石公園の「化石床」であり、大地形成を学ぶ上でも貴重な学習教材と考えられる。また、学習教材のみならず町内の各地層を巡るなど、観光資源にもなり得るものと考えられる。これから、府内各課が連携した中で各種情報を共有し、今後の利活用及び良好な施設管理に努められたい。

おいて、完成状況と今後の利活用・維持管理について現地を含め調査した。

産業建設常任委員会

■調査の経過

令和3年8月17日関係職員の出席及び農業者等の協力を得て、資料や現地での説明を受けて調査した。

■調査の結果又は概要

(意見)

○林道整備及び維持管理の状況について

(汐見栄豊線現地調査)

全体延長約4km、事業期間10年（平成28年から令和7年）と長期に亘る

事業であることから、工事完了部分の良好な維持

管理に努め、引き続き事

業実施すると共に、今後、森林の持つ多面的機能を

より効果的に発揮できる

よう、林道周辺の森林整備計画の推進に努められたい。

林道整備事業は、地域

雇用の確保を図る上からも、関係機関との連携を図りながら継続的且つ安

定的な事業展開に努めると共に、既存の町内林道においても良好な維持管理

をお願いしたい。

○農作物の生育状況について

(現地調査)

春先からの主要作物のブロッコリーについては、

作付農家が1戸減少したものの病害虫の発生も少

なく、順調に出荷は続いているものの、高温・少

雨の影響によりB等級の割合が多いことで、生産

額の減少が心配されるが、

今後の天候回復を願い安

定生産・安定出荷出来る

ことに期待したい。

水稻については、生育

も順調で豊作も予想して

いるとのことでしたが、

高温による「白未熟粒」

が発生する心配もあると

の説明もありました。

収量的には問題ないこ

とから、今後刈り取りま

でに登熟が進む事に期待

したい。

畑作物については、高溫・少雨による影響はあるものの、順調に生育しているとの説明をうけ、豊作の秋を迎えることに期待したい。



農作物の状況を聞く議員



汐見栄豊線で説明を受ける議員

第4回臨時会

臨時会を開催

■令和3年度乙部町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3回）

資本的収入では、備品購入に係る一般会計負担金の追加、資本的支出では、訪問看護事業に係る介護保険システム購入に伴う医療用備品購入費の追加を行いました。

10月12日に開催され、次の案件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

■私有車の公務使用に関する条例の一部を改正する条例

10月から函館バスのダイヤ改定や八雲・旧熊石間の路線の廃止に伴い、函館近郊・檜山北部・八雲駅までの旅行において私有車を使用することが見込まれることから、一部改正をしました。

■令和3年度乙部町一般会計補正予算（第3回）

歳入では、財政調整基金取崩しの追加など、歳出では、事業者支援助成事業負担金の追加などを行い、歳入歳出それぞれ5934万円を追加し、総額を37億8174万円としました。

町政はあなたのためには —議会を傍聴しましょう—

○町議会の定例会は年4回（3・6・9・12月）開催されます。

○町の臨時会は、必要に応じて隨時開催されます。

★★★ 次の定例会は、12月です ★★★

議会のうごき

- R 3. 5. 7 令和3年度乙部町戦没者慰靈祭
- R 3. 8. 5 議員全員協議会
- R 3. 8. 14 令和3年度成人のつどい
- R 3. 8. 17 産業建設常任委員会（閉会中の継続調査）
- R 3. 8. 21 国道229号線岩盤崩落に係る意見交換会
- R 3. 8. 23 総務民教常任委員会（閉会中の継続調査）
- R 3. 8. 31 檜山町村議会議長会定例会（江差町）
- R 3. 9. 8 総務民教常任協議会・委員会
産業建設常任協議会・委員会
- R 3. 9. 10 議会運営委員会
- R 3. 9. 16 令和3年第3回乙部町議会定例会、全員協議会
- R 3. 10. 8 議員全員協議会
- R 3. 10. 12 令和3年第4回乙部町議会臨時会
- R 3. 10. 18 決算特別委員会
～19
- R 3. 10. 27 総務民教常任委員会（閉会中の継続調査）
産業建設常任委員会（閉会中の継続調査）

段々と寒くなり、ストーブが活躍する季節となつてきました。コロナウイルスに関しては、やつと収束が見えてきたという印象ですが、これから時期はインフルエンザウイルスも流行していくようになります。町民の皆さんがあなたの元気に秋・冬を乗り越えられるよう、体調管理に十分気を付けていきましょう。今後も、議会の様子を「分かりやすく・読みやすく」をテーマに編集に努めてまいりますので、皆さんのご意見等をお聞かせください。

議会だより編集委員会
委員長
米安明田
坂岡石中
貞美修義人
男穂二人

